

私のほっと HOT

きらっとLIKE WORK

KAWACHINAGANO CITY

とな時間

河内長野で輝いている人に聞きました

VOLUME
11

加賀田公民館のクラブに通って15年
西岡 孝夫 さん



書くこと自体を楽しむ

集中する時間や

ほっと

大切にしているもの

POINT

「定年を見越し、ずっと続けられる活動はないかと探していたときに書道クラブを見学しました。字を書くことが好きなので通い始めたのですが、あっという間に15年が経ちましたね」と話すのは、加賀田公民館の書道クラブに通う西岡さん。現在は月2回、仲間とともに筆を取っています。

クラブでは、先生の指導のもと基本を大切にしながら、一文字一文字丁寧に書き上げます。筆の運びや止め・はねなど、基本をしっかり身につけることで、表現の幅が広がっていくのを感じると話します。「書道の魅力は、自由な表現もできること。私は自分の感性を出せる近代詩も大好きです。きっちり書く習字とは違い、かすれや濃淡を工夫しながら、自分らしい字を書けたときが一番楽しいですね」と笑顔が

こぼれます。あえて紙の裏面を使ってかすれを出すなど、自分なりの工夫も重ね、書くこと自体を楽しんでいます。

「集中して書いている時間が好き」と語る西岡さん。思うように書けないときは紙の大きさを変え、ダイナミックに書いてみるなど試行錯誤を繰り返しながら、一文字、一画と向き合っています。作品を見た人から「力強いですね」と声をかけられたときは、自分の意図が伝わったと感じ、とてもうれしかったそうです。

「小学生の書道の授業をサポートする機会もあり、元気にのびのび書く姿に刺激をもらい、学ぶことも多いです。もっと書道人口が増え、公民館活動を知ってほしいです」と話す西岡さんは、これからも楽しみながら書と向き合い続けます。



西岡さんの作品と、一緒に書道を学ぶ仲間たち。加賀田公民館が複合化したことで、地域のつながりがさらに広がる場として色々な方に来てもらい、書道を楽しむ仲間が増えたり、公民館活動が活性化するきっかけになれば、と話します。